

Japanese History Watchers Special

【日中交流特別授業 日本と中国を往来した商人：周文裔・周良史親子の活動に迫る！】

① 10世紀～12世紀ごろ、日本と中国はどのような交流をしていたか？

・当時の東アジア情勢の地図画像を紹介しました。

◎ 日本と宋での貿易で取引されていたモノ（画像もあわせて紹介しました）

・日本から…硫黄・刀剣・扇・木材など ・宋から…宋銭・陶磁器・香料・薬品など

② 日本と宋を行き来した商人：周文裔・周良史親子の活動に迫ろう！！

★重要なポイント★

・隋や唐の時代は、日本の政府とはおもに「国家間」の交流・交易が行われていた。

→ 唐が滅び、五代十国時代・宋の時代では、「国家間」の取引ではなく、「民間人」の交易が中心に行われるようになった！

→ このような民間交流が行われていたころ、商人たちはどのような活動をしていたのだろうか？

→ 今回は日本と中国（宋）のどちらにもルーツのある、商人にスポットライトを当てて考えてみることにしよう。

◎ ① 周文裔 と ② 周良史 親子 の目的とは？

→ 当時の史料を読みながら、彼らの活動をみていこう。

【史料 1】『御堂関白記』（日本の貴族：藤原道長の日記）【意訳】

1013年2月4日

私（道長）は皇太后宮のもとへ参った。内裏（天皇の御所）に参った。唐物（中国産の品物）の解文を天皇に上奏した。天皇はすぐに唐物を御前に召して、これをご覧になった。天皇の母や天皇の妻、皇太子などがいらっしゃり、これら（唐物）が天皇からそれぞれ分け与えられた。私も（唐物である）「錦」八疋・「綾」二十三疋・「お香」・「紺青」などを天皇から賜った。

【史料 2】『日本紀略』（平安時代の歴史書）【意訳】

1015年6月25日

宋の国の商人周文裔がクジャクを朝廷に献上した、クジャクはそののち藤原道長に与えられ、彼はクジャクを飼ってみた。去る4月晦日以降に卵を11個産んだ。異国の鳥が卵を産むなんてと人々は不思議がった。ある人は「この鳥は雷の音を聞いて卵ができる」といった。（中略）しかし100日たっても雛は産まれなかった。

Question1：上記の【史料 1】～【史料 2】から…

中国の商人たちは日本にどのような商品を持ってきているか？ 中国産の品物は、当時の日本列島ではなんと呼ばれていただろうか？

Question2：【史料 2】からは…宋の周文裔が日本列島にクジャクを持ち込んでいることが読み取れる。当時、クジャクだけでなくオウムや猫も宋から日本へ持ち込まれ、貴族たちがこれらを手に入れていたようである。

このような中国産のモノや、動物を日本の貴族たちが手に入れようとしたのはいったいなぜだと思いますか？

◎ 周文裔・周良史親子の行動から、彼らの目的について考えてみよう。

【史料 3】『小右記』（日本の貴族：藤原実資の日記）【意訳】

1026 年 6 月 26 日

宋の商人である周良史なる人物が、関白の藤原頼通の所へ名簿（自分の名前などが記されたもの）を渡して、貴族の官位を望んできた。貢物として桑糸 300 疋を献上した。もし今回の希望がかなわないのならば、一度宋に帰り、2 年後にまた来て、さらに様々な唐物を献上することになった。この良史の母は、日本人です。（中略）周良史は「頼通さまの徳が宋にまで及んでいるのは非常に素晴らしいことです」と言った。

【メモ】

◎ 周良史の行動に対して筆者の藤原実資は…

私（藤原実資）は、（周良史を）日本の官位に任命するのは、深く恥じるところである。ましてや宋の商人が献上したとなると、なおさらである。遙かに聞いたところでは貪欲であって、何か計略があるのだろうか…と考えた。

【史料 4】『小右記』（日本の貴族：藤原実資の日記）【意訳】

1029 年 3 月 2 日

使者に託して、宋の国台州の商人である周文裔が手紙を送ってきた。「藤原実資さまにお渡しいたします。宋人周文裔が謹んで手紙を封じます」と記してあった。手紙の入っている箱を開いてみると二通があった。（中略）一通は藤原実資に送ってきたようである。そこで手紙を開いてみた。その手紙にはこのように書かれていた。

「宋の国の商人、周文裔が恐れながら申し上げます。

事情を申し上げます

私は去る 1026 年に日本から本国の宋に帰りました。またこの秋 9 月に日本に参りました。これはつまり、果てしない徳化を求めて忠節の有終を願ったのです。そもそも、若いときから現在に至るまで、殿下（藤原実資）の徳声や政誉を聞いています。（中略）

ところが、貴賤には違いがあり、名を伝えるのに方策がありません。奉仕の願いを思っているとはいってもいまだご奉仕ができておりません。（中略）そこでお渡しするお手紙に関白藤原頼通さまにお伝えすることをお願いいたします。（後略）」

→ この手紙に加えて周文裔は、藤原実資に様々な唐物を貢ぎ物として献上している。

Question3：史料 3・4 にみられるような行動をしていた周文裔・周良史親子は、日本でどのようなことを目指していたと考えられるでしょうか？

日本の高校生が考えた以下の①～③の説の中に「共感する」と思うものがあればそれを参考に、考えを記入してみましよう。もしそれ以外に「④新しい説」を思いつくのがあれば、その考えを記入してみてください！

◎日本の高校生が考えた説

- ①周文裔・周良史親子は日本列島の貴族に近づいて、日本で出世することを目指したのではない
か説（政界進出説）
- ②周文裔・周良史親子は、商人ではあったが、じつは日本列島内部の情報を中国に伝えるために、
日本列島の貴族に近づこうとしたのではないか説（スパイ説）
- ③周文裔・周良史親子は、商売をさらに発展させるために日本列島の貴族に近づき、いわゆる「お
得意様」への営業活動をしていたのではないか説（営業マン説）
- ④ あなたが考えた新しい説

【私が考える説は…

です！！】

（理由を以下に記入してください！）

◎ 周りの人とそれぞれ意見を交換してみよう！ 仲間の意見は沢山メモしよう。

____さんの意見	____さんの意見
____さんの意見	____さんの意見

今日の授業をきっかけに、色々な視点から歴史を見ることをしてもらえたら嬉しいです！！